

7 温泉利用施設立入検査

【水質環境科】

県下の温泉の実態を把握し、資源の枯渇、衰退現象を防止して資源の適正利用を図るため、平成2年11月から3年3月に231源泉の立入検査を行い、そのうち210利用源泉について温度、湧出量、電気伝導度、Cl⁻、硬度を測定した。その調査結果は次のとおりである。なお、残りの21源泉については、静水位を測定した。

温泉調査結果表

温泉地名	温度別利用源泉数			平均温度 (°C)	湧出量 (l/分)	電気伝導度 (μ S/cm)	Cl ⁻ (mg/l)	硬度 (mm/l)	主な泉質
	<25°C	25 ~ 42 °C	42<°C						
岩井	0	3	2	45	1,200	1,700	150	5.9	カルシウム・ナトリウム硫酸塩泉
鳥取	0	6	13	44	790	4,300	800	3.4	ナトリウム塩化物硫酸塩泉
吉岡	0	2	3	46	990	540	73	0.4	単純泉
浜村	2	7	14	47	1,210	1,100	230	1.8	ナトリウム・カルシウム塩化物硫酸塩泉
鹿野	0	0	8	62	1,080	1,000	280	0.5	単純泉
羽合	0	0	5	58	1,630	2,100	550	2.6	ナトリウム・カルシウム塩化物硫酸塩泉
東郷	0	7	14	68	1,080	2,000	560	2.0	ナトリウム・カルシウム塩化物硫酸塩泉
三朝	0	25	53	51	2,060	1,300	310	0.8	単純放射能泉
関金	0	9	8	42	430	590	85	0.3	単純放射能泉
皆生	0	1	15	69	3,930	14,000	5,800	43	ナトリウム・カルシウム塩化物泉
その他	1	12	0	28	800	2,400	1,000	5.2	
計	3	72	135	56	15,200				

- (注) 1 泉温、電気伝導度、Cl⁻、硬度は平均値。
2 温度別利用源泉数は、検査時利用中のもの。